

「一帯一路」をどう読み解くか？
～ モンゴル帝国が築いた「寛容」な
ユーラシア広域交易圏を振り返りつつ～

政策研究大学院大学 教授

家田 仁





Miraflores and Gatun Locks (completed in 1914, 2 lanes); Panamax W=32m
Cocoli and Agua Clara Locks (completed in 2016, 1 lane); Neo-Panamax W=49m
in Panama Isthmus



中巴150年記念碑

1854年に中国人がパナマに労働力(苦力)としてわたってから150年を記念し、2004年に中国によって建てられた記念碑。パナマ運河の太平洋側入り口の高台にある。

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- 明治初年と3点で類似する現代日本の置かれた状況
- 中国の強大化

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- グローバルな交通インフラ充実
- グローバルな経済発展
- 中国の強いヘゲモニー指向

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- グローバルに受け入れられてきた「英米型の理念」
- 中国の「理念」はグローバルな「理念」を創出できるか？

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. **求められる多角的な視点と総合的なアプローチ**
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- 「環境」や「安全」に対する価値観
- 手続きの「透明性」や「公平性」

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. **中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？**
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- 国内的・国際的な**経済開発**
- **対外的な威信**を示す
- 国民の**プライド**と**統合意識**高揚
- **シルクロード**が想起させる古来の中華帝国
や海のシルクロード「**鄭和の西洋下り**」

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. **古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性**
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

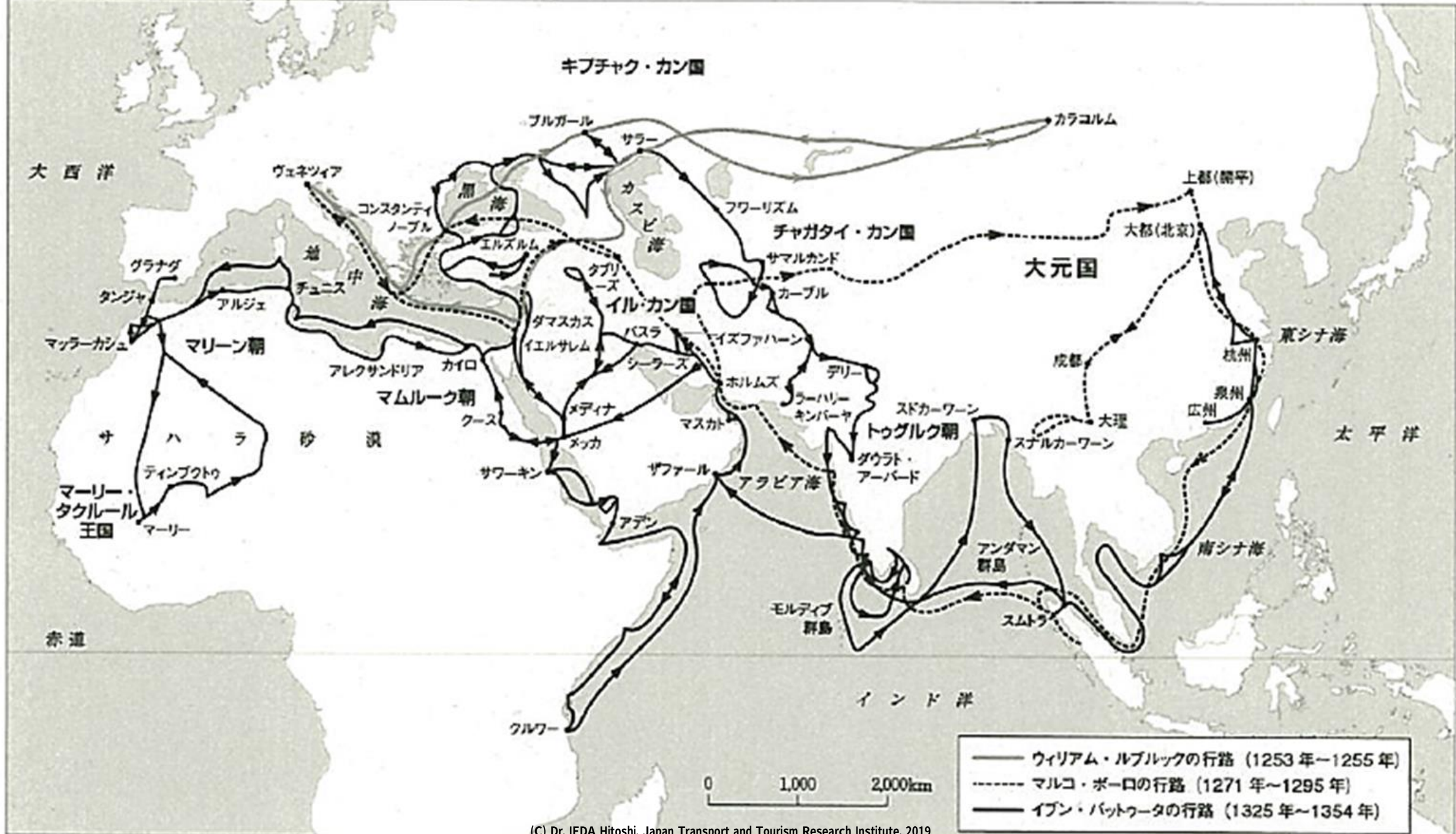
- 農耕民と遊牧民の対立と共生の関係
- 唐とソグド人（胡人）

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. **モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築**
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- 本格的な**広域交易圏**としてのモンゴル帝国
- モンゴルによるホラズム朝の**殲滅**
「**タタールの頸木**」
- **多様な宗教容認**のモンゴル帝国
- **パックスモンゴリカ**の下の**駅伝制度**ジャムチと
身分証「**牌子**」

1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. **モンゴル帝国とイスラム**
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- 行政面と経済/通商面を担うモスリム
- イスラム信仰における「商売」重視姿勢
- グローバルに広がっていくイスラム
- 世界初の世界史「集史」(Compendium of Chronicles)
- グローバルな旅人たちの登場



1. 現代日本と中国
2. 「一帯一路」への期待と懸念
3. 現代中国はグローバルな「理念」を創出できるか？
4. 求められる多角的な視点と総合的なアプローチ
5. 中国にとって「一帯一路」の意味はどこにあるのか？
6. 古代シルクロードと遊牧民・農耕民の共生性
7. モンゴル帝国によるユーラシア広域交易圏の構築
8. モンゴル帝国とイスラム
9. 「寛容」なユーラシアは再構築できるか？

- 人種意識や民族差別がみられないモンゴル帝国
- 実力主義と実質主義
- 「寛容さ」をベースとする世界を構築できるか？
- イスラム世界の混迷を乗り越えられるか？

おわりに

- 産官学ともに視野狭窄に陥っていないだろうか？
- 何が求められるか？
 - ・研究界：視野の拡張、戦略性、先鋭性、多様性
 - ・実務界：「内なる開国」

END

ご清聴ありがとうございました。